

姫路城 金魚すくい選手権大会公式ルール

競技用具について

全て主催者が用意したもので競技する。ポイは直前に渡すもののみを使用する

主な用具

- ・舟(水槽)は縦80～90cm、横50～60cm、深さ18～25cmで水深は約10cmとする
- ・ポイは5号・内径約8cmを使用し、1試合1名1枚とする
- ・ボール(お椀)、内径20cm以内を使用し、1名1個とする

金魚について

一つの舟の金魚の数は約300匹とし、種類は小赤とする。

競技の方法について

競技はハイスコア方式の個人戦で、1人1枚のポイで3分間で何匹すくえるかで競います。
部門は一般の部、高校生の部、中学生の部、小学生の部(小学生以下は参加不可)の4つ。
1つの舟に選手は2人まで、審判員は1～2人とする。

競技の進行について

- ①選手は受付でエントリーします。(当日受付、参加費200円orチケット、1人何回でも参加できます)
- ②誘導係指示に従い競技エリアへ移動し、複数のポイから自分の使うポイを1分以内に選ぶ。
- ③審判員の合図でスタート。競技時間は3分。
審判員の掛け声、「1分経過、2分経過、残り30秒、5、4、3、2、1、終了」で競技終了する。
但し、時間内であってもポイが破れて掬えないと審判員が判断した時はすみやかに終了する。
- ④審判員が選手に確認してもらいながら匹数を数える。
- ⑤審判員が匹数を競技者カードに記入し、その時点の各部門の上位10位に入った場合は誘導係の指示に従い、必要書類(名前、匹数、連絡先など)に記入する。
- ⑥ランキング表(一般の部、高校生の部、中学生の部、小学生の部の4部門)に上位10位までの競技者の名前と掬った匹数を表示する。

成果の認定について

競技終了後、審判員は直ちに匹数を確認し、それを認定する。各部門それぞれに最後まで残ったランキング上位者を入賞者とする。

競技規則について

基本の4つのルール

- ①選手は必ず利き手(片手)だけで競技を行う。ボールも利き手で移動させる。
- ②選手はポイの柄の部分を持って競技を行う。枠(円の部分)に触ってはならない。
- ③選手は舟の壁面とポイに挟むように金魚を掬ってはいけない。(壁すくいの禁止)
- ④周りの人に迷惑をかけないすくい方を心がける。

その他の販促行為とそれに対する処置

- ・選手は金魚をすくう際、ポイを水面から完全に上げずに水面を滑らすように金魚をボールへ流しこんではならない。(流しこみの禁止)
- ・選手は競技中に、肘関節を水の中につけてはならない。(囲い込みの禁止)
- ・反則行為は3回目をもって競技の停止を宣告する。
- ・反則行為、又は著しいマナーの欠如により審判員より競技の停止の宣告を受けた者は、直ちに競技を終了しなければならない。
- ・審判員に対する暴言等の威嚇的行為については競技停止とする。
- ・反則行為によってすくった金魚は計数しない。

選手の心得について

- ・選手は常に金魚すくい技術の向上につとめるとともに、動物愛護の精神に涵養(かんよう)し、金魚に愛情をもって接するものとする。
- ・競技中、大声を出したり、談笑したり、他の選手の集中力を妨げるような行為をしてはならない。

表彰について

各部3位まで表彰する。

選手 注意事項

- ・本大会は、姫路城 金魚すくい選手権大会公式ルールに沿って行います。
- ・選手は誘導係に従って競技エリアへ入場し、競技終了後も誘導係に従って退場して下さい。
- ・各部の上位選手は賞品がありますので必ず結果発表に出席して下さい。
- ・選手は必ず審判の判定に従って下さい。
- ・動物愛護の精神から、故意に金魚を痛めつけるようなことは絶対にしないで下さい。
- ・エアープンプ・エアースーツを踏まないように注意して下さい。
- ・金魚が著しく弱った場合、競技中もエアープンプを使用する場合があります。
- ・貴重品は、各自で管理して盗難には十分注意して下さい。

観戦者 注意事項

- ・競技エリアには選手以外の人はいれません。囲いのコーンバーの外から観戦して下さい。
- ・競技中に舟の近くで大声で騒ぐ等の行為をする者に対しては、審判員より退場を宣告する場合があります。